

高等部だより

# だいち

限りなく広がる大地に  
根をはって・

2016.6.3(金) 3号

臨時号

福島県立会津養護学校高等部

Tel 0242-32-2242

文責 高等部 教務部



暑い日が続いたかと思えば風の強い肌寒い日もあり、体調の調整に気遣う毎日ですが、皆様方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。新入生もすっかりと落ち着き、上級生と一緒に毎日笑顔で通学している様子があちらこちらで多く見受けられます。

さて本号は、過日行われましたマラソン大会の様子を中心に、日々の授業や休み時間など日常の生徒たちの姿を通信したいと思います。このような日常のありのままの生徒たちの様子をお届けし、生徒たちの学校生活の様子や思いを皆様に感じ取っていただければと思います。そして、保護者の皆様の率直な感想などもお聞かせいただければありがたいです。よろしくお願いいたします。



## マラソン大会

過日5月20日(金)に青空のもと、高等部マラソン大会を行いました。マラソン大会は、なぜか毎年晴天に恵まれます。今年も天候に恵まれ大変良い汗を流し充実した運動日和を過ごすことができました。それぞれの生徒は、毎日のスポーツ—学年マイTシャツ—運動の時間にタイムを計測したり周回数の課題を課したりして、大粒の汗を流しながら自己目標に向かって頑張って練習してきました。2、3年生は、これまでの体力づくりの成果を発揮し、上級生の貫録を見せることができました。1年生のがんばりも目を見張るものがあり、周回コースの生徒たちは、各コースに上位入賞することができました。また、車いすの生徒たちも友だちや保護者の皆さんの声援の中、さわやかな風を受けゴールできました。



車いすの友だちもゴー!

体力づくりは、福島県全体の課題でもあります。生徒にとっても、将来の社会生活に向けて体力を強化していくことは、全ての基盤になると考えます。その意味でもマラソン大会やスポーツタイム等での体力づくりは、学校生活の原動力になり、いろいろなことへ「挑戦」する姿勢や意欲にもつながる大切な学習です。今後も自力登校、1日作業日、各実習、校外学習、部活動等あらゆる機会を捉え、更なる健康保持・体力増進を図ってまいります。



お母さん方の応援が力に!

マラソン大会終了後は、PTA学部行事として昼食会が行われました。保護者の方々には、事前及び朝早くからご準備いただき、大変お世話になりました。生徒たちは、保護者の方々の作るカレーが大好きで大変楽しみにしています。「カレー」が「走る力」になっているようです。



昼食は カレー!



## 主な記録

2km 男子

1位 (3年) 12分36秒 2位 三瓶直樹(1年) 13分41秒 3位 高崎友宏(1年) 16分08秒

2km 女子

1位 古川亜海(2年) 22分16秒 2位 武田雅織(2年) 23分12秒 3位 佐藤優里奈(2年) 25分19秒

\*男子4kmの畑君の記録は、歴代記録より「1秒」早い「新記録」です!! 価値ある「1秒」です。

4km 男子

1位 畑 和弥(3年) 15分29秒 2位 (1年) 16分0秒 3位 長島信弘(2年) 16分14秒

4km 女子

1位 松本春香 24分3秒 2位 (3年) 25分19秒 3位 室井春奈(1年) 26分10秒



歴代記録です!! 先輩方もすごいですね。先輩方の記録へチャレンジ!

4km 男子

1位 15分30秒 N・T君(H24卒) 2位 16分22秒 U・U君(H24卒)

4km 女子

1位 19分46秒 S・Fさん(H23卒) 2位 19分50秒 I・Aさん(H26卒)



## 日々の授業

### △ 授業風景写真 △

\*他の授業等は次回からの号でお届けします。

#### 自立活動の授業



「身体の動き」体幹・上肢・下肢等各部位を自分で滑らかに動かします。



#### ホームルームの授業



現場実習へ向けて「目標の設定」



「衣服と社会性」

#### 各教科等の授業



生活単元学習「実習ノートの作成」



国語「実習の意義」



国語「いろいろな文」



家庭科「おいしいハンバーグ」



#### 自立活動の指導



食育:「摂食指導」は五感を最大限に稼働させ言葉や社会性なども学びます。

#### 農芸班



「落花生」の植え付け

#### 作業学習



電動のこぎり:「溝切り」

#### 木工班



#### 新しい教頭先生と談話会から学ぼう!「今の大切さ」

まずは、「談話会」で自己紹介や質問などを通して、お互いを知ることから始めました。

夢の実現に向けた第一歩は、今の自分を正しく理解することだと考えています。自分自身の長所や短所、趣味、行動の特徴などを知り、課題の解決に向けた具体的な手立てを考え、日々の生活をきちんと振り返ること・・・生徒の皆さんは、それぞれの話に真剣に耳を傾け、自分自身について見つめ直していました。

限られた高等部生活の一日一日を「大切に」過ごし、全員が笑顔で学校から巣立っていけるよう、すてきな生徒たちを支援していきたいと思います。

教頭 鈴木龍也



談話会の様子

次号は実習関係の特集します。